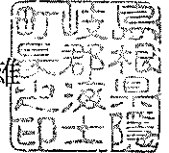




海 建 第 28 号
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

海士町長 山 内 道 雄



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号により依頼のあったことについては下記のとおり回答します。

記

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

離島における最大のハンディは、海で隔てられており容易に本土との行き来ができないことにある。離島における交通問題は、医療の確保や産業振興等あらゆる問題の根幹にある最大の課題である。

- ・ 本土と隠岐を結ぶ隠岐航路は、人口減少や公共事業の削減、原油の高騰により航路の維持が困難な状況となっている。
- ・ 離島航路は、島民の足であるとともに生活物資を輸送するまさに生命線であり、本土での「道路」としての機能を果たしていることから、国道として位置づける必要があるので、最低限の社会インフラとして、民間企業による運行を基本としつつ、公共財として税の投入が必要である。

以上のことから、離島における道路としての機能を維持するため道路特定財源の一部を活用した 「離島航路整備交付金」 制度を創設して頂きたい。